



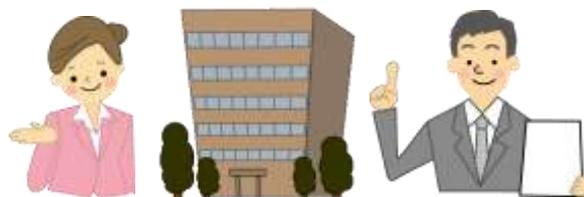
編集・発行
平成 24 年 11 月 1 日発行
(公財)よこはまユース 横浜市青少年育成センター
横浜市中区住吉町4-42-1 関内ホール地下1階
TEL:045-664-6251 /FAX:045-664-6254
<http://www.yokohama-youth.jp>



馬車道通信

相談・情報スポットから

助成金を活用 No. 2 しましょう!



子ども・若者や子育てに関わる活動の充実には、財源の確保が不可欠です。現在、助成金を募集している団体を掲載しました。これから秋に向け、助成金の募集数が増えてきます。ぜひ活用し、活動を充実させていきましょう。
※この他にも情報があります。詳しくは窓口のスタッフにお尋ね下さい。

助成制度名 (公募先)	助成対象	助成金額	募集期間
子どもゆめ基金 (独立行政法人国立青少年教育振興機構)	子どもを対象とする 体験活動や読書活動 の振興に取り組む団体	市区町村規模: 50 万円 全国規模: 300 万円他	2012/9/14~12/5
横浜市環境保全活動助成金 (横浜市環境創造局政策課)	自主的な環境保全 活動をしている団体	助成金の交付対象と なる経費の満額 1 団体当たりの助成 金の限度額は年度ご とに 10 万円	2012/6/1~12/20
ヨコハマ市民まち普請事業 2 次コンテスト (NPO 法人 市民セクターよこはま・ NPO 法人 アクションポート横浜)	地域の生活環境の 整備・維持管理などの 活動をしている団体	上限額 30 万円	2 次コンテスト ~2013/2/3 (1 次コンテスト終了)
災害ボランティア・ NPO 活動サポート募金 (赤い羽根共同募金)	ボランティアグループ、NPO	上限額 300 万円	2 ヶ月に 1 回程度、 随時受付。

<公開シンポジウム>

子ども・若者を支える地域を目指して



地域の子ども・若者たちを支える活動は「学校を中心とした範囲(学区)」で行われることが多いようです。

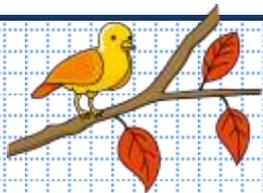
本シンポジウムは、地域の子ども・若者たちを支えている活動の中で、“学校が拠点”または“学校と連携”している活動報告から、学校が地域活動でどのような役割を担っているのか、活動によって地域がどう変化したのか等を聞き、これからの地域活動を考えていきます。

一学校と地域との連携、居場所づくり



- ◆日時: 平成 24 年 12 月 15 日 (土) 14:00~17:00
- ◆会場: 横浜市青少年育成センター
- ◆対象: 青少年活動または地域活動に関心をお持ちの方、PTA、行政・団体職員、教員、放課後児童育成職員等 70 人





平成25年度への 利用証更新手続きについて



平成25年度(平成25年4月1日～26年3月31日)に育成センターをご利用される場合は、利用証の更新が必要となります。なお**現在の利用証の有効期限は平成25年3月31日まで**です。更新手続きはご利用時に受付までお声かけて下さい。

●平成25年度の利用登録更新の手続きがない場合は、平成25年4月以降の予約についてはお受けすることができません。お早目に、更新手続きをお願いいたします。

●当センター発行の「利用証」は、横浜市青少年交流センターでもご利用頂けます。

馬車道コラム Vol.13 ~馬車道あれこれ「ダンスチケット」って知っていますか?~



馬車道の中で一番大きい建物というと、神奈川県立歴史博物館である。かつては、横浜正金銀行の本店として明治37年に建てられ、現在は国の重要文化財にも指定されている。

1階の正面玄関1階から入ると、右手には小さいスペースながら売店がある。ちょっと覗いてみると、何とも面白いものばかりが販売されているではないか!

「再発見!鎌倉の中世」(会期:10月6日(土)~12月2日(日))という特別展の関係からか、関連する書籍と一緒に、写経のセットや卵型の「にぎり仏」など普段あまり見ることがない物が売られていた。「化石チョコレート」や「横濱シルクアーモンド」といったユニークな名前のももあった。興味深かったのは、かつてダンスホールで使われていたという「ダンスチケット」が3枚100円で売られていたのだ。勿論、ダンスホールがない現在、実際に使うことはできないが、本の葉として売られていた。

そのほか、神奈川の歴史に関連のある絵葉書も売られ

ていた。中には、2010年に惜しまれつつ解散した日本の代表的なビッグバンド「原信夫とシャープス&フラッツ」の絵葉書もあった。今年の4月に「ヨコハマ・ヨコスカストーリー」という特別展がこの博物館で開催された際に作られたものかもしれない。因みに、かつてこの名門バンドで長年ドラムを叩いていた中村吉夫氏は私のジャズドラムの師匠であり、恩人である。

1階の廊下には、明治から戦後まで、各時代の馬車道の写真が展示されていて、今も馬車道で営業している老舗の看板を見つけことができる。それぞれの時代の馬車道の匂いが漂ってくるようだ。

売店や喫茶店など展示室をのぞく1階のスペースは



無料で入場できる。ちょっと時間があいてしまった時の寄り道コースとしてお勧めしたい。

<ジャズおやじ>



平日
9:00~21:45
日・祝日
9:00~16:45

会議の資料や広報紙、サークルの報告書などが作成できます(作業台有り)。ぜひ、ご活用ください。
☆利用希望日の1ヶ月前の同日から予約を受け付けます。(登録不要)

設備	料 金
コピー	1枚10円(両面印刷は2枚とカウント)
印刷機	版下1枚100円 インク代1枚0.5円 (両面印刷は2枚にカウント) 備え付けの用紙を使用の場合は、紙代として 白紙1.5円/枚 色紙2.5円/枚
紙折機	無 料
裁断機	無 料

部屋活用お役立ち情報

■育成センターは隔週で月曜日休館が多いため、他の曜日に比較して予約が少ない傾向にあります。会議やサークル活動などにぜひご活用ください!※休館日は、受付にあるチラシやHPでお知らせしています。

■スタジオの空き状況がホームページ上でご覧いただけます。毎週1回更新します。空き状況は現時点の状況であり、随時変動しますので、まず、電話(045-664-6251)にてご確認下さい。

(<http://www.yokohama-youth.jp>)

■部屋の利用許可申請書をE-mailでも提出できるようになりました。ぜひご利用下さい。

E-mail ikusei@yokohama-youth.jp

※申請書(Word)のダウンロードはHPからどうぞ

【お申込み/お問い合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター/ TEL: 045-664-6251 FAX: 045-664-6254 E-mail: ikusei@yokohama-youth.jp

